

# 令和6年度少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援 【メニュー2：複数大学等連携】 計画書【連携大学毎（代表校含む）】

学校法人及び大学				
法人番号	281016	学校法人名	八代学院	
学校コード	A01	大学名	神戸国際大学	
			自大学の配分割合	■ %

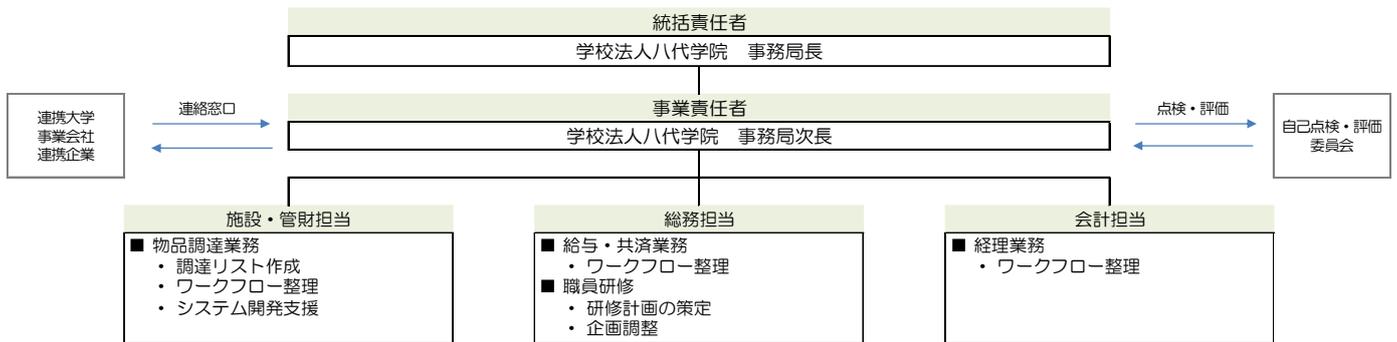
## 1. 事業内容（4ページ以内）

### (1) 連携大学毎の実施体制・連携事業における役割

#### (1-1) 学校運営面における取組計画

本連携事業では、本学院の責任者となる事務局長のリーダーシップの下、管理運営センターが担当部署となり、共同事務組織の対象となる大学総務担当、財務担当（経理）、施設・管財担当（物品調達）の効率化を目指す計画である。本学院の事業責任者となる管理運営センター室長は、法人本部事務局次長が兼務しており、部署横断的な調整も可能となっている。また、本学院では中長期計画に基づき単年度の事業計画を策定しており、各種施策について期末にモニタリングを行っている。さらに、自己点検・評価委員会を設置し、毎年度自己点検・評価を行うことで各組織の課題抽出と改善、強みの伸長を図っている。本連携事業もこの仕組みにより、管理運営センター事業計画に位置づけ、適切なPDCAサイクルを回して、事業の着実な遂行を行うことが可能である。

#### ■ 本学院の事業実施体制と役割（イメージ）



#### ■ 本学院の連携大学の中での役割（イメージ）



また、本学院は2022年度より開始している八代学院中期計画の中で「経営基盤の強化」を掲げ、財務構造再構築による財政基盤の強化を掲げている。本方針に基づき、事業活動支出の効果的な削減施策を企画しており、その中核を担う取組として本事業を有効に活用して計画の達成に寄与させることが可能と考えている。

#### (1-2) 教学面における取組計画

## (2) 大学等における経営改革に関する計画

本連携事業において、他法人や企業との連携および業務のDX化による間接部門の改革を通じて経営効率化とを図ることとしており、「財政基盤の強化」で目標とする学院の持続的発展を可能とする財務体質を具体化するものと考えている。将来構想は2027年度改定を予定しており、その際に本連携事業に関する取組みを盛り込むことを予定している。

### ■ 将来構想の基本戦略と本事業の位置づけ



本連携事業による本学院の経営効果については、現在本学院の人件費と共同事務組織運営にかかる委託費の差額により、事業完成年度において2411万円／年の間接部門経費を削減することが可能と考えている。また、物品の共同調達においては、消耗品を対象に経費節減を図る計画であり、現在の価格から10%の削減（204万円／年）を目指す。事業期間中の補助金の使途については、事業完成年度までにこうした経営効果を得られる体制を実現するため、システム開発・導入、移行期における人件費等の経過措置の費用に充てることを想定しており、事業期間終了後は、補助金による支援がなくとも経営効率化が図られ、自走化が実現される見込みである。

### ■ 本連携事業における経営改革効果の予測値

	基準年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
事業経費計(A)	6,566	6,525	6,485	4,288	2,658	2,617	2,617
人件費(給与共済)	1,589	1,589	1,589	1,589	0	0	0
人件費(経理)	2,156	2,156	2,156	0	0	0	0
消耗品費	2,821	2,780	2,740	2,699	2,658	2,617	2,617
事業経費計(B)	0	700	700	952	1,538	1,538	1,538
共同調達システム開発・導入等	0	700	350	0	0	0	0
シェアードサービス化等	0	0	350	952	1,538	1,538	1,538
補助金(C)							
A+B-C							
コストメリット(単年)							
コストメリット(累計)							

本連携事業では、連携大学間で共同研修を行うことも計画しており、単純な研修経費の削減だけでなく、高度な専門性を持つ職員の養成に資する内容とすることで、本学院の事務職員の高度化に寄与するものと考えている。職員の高度化については、地域連携コーディネーター等を候補に大学運営IR等を担うデータサイエンティスト等の分野を想定している。今後、これらを連携大学間で共有するだけでなく、間接部門の効率化により転換する職員の能力向上に努める。

このように、定量的な経費の削減という財務面の経営力強化だけでなく、コスト削減による余剰リソースを他の活動に割り振り、さらにその高度化を図ることで事務職員の高度化を両立することで、持続可能な経営を可能にする人材の育成にも繋げることを目指す。

## 別紙 「財務に関する計画書」

法人番号	281016	学校法人名	八代学院
学校コード	A01	大学名	神戸国際大学

### ① 定員充足状況（当該大学等）

単位：人

項 目	5年度 (5/1時点)	6年度 (5/1時点)	7年度 (見込み)	8年度 (見込み)	9年度 (見込み)	10年度 (見込み)	11年度 (見込み)
収容定員	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520
在籍学生数	1,787	1,774	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770
収容定員充足率	117.6%	116.7%	116.4%	116.4%	116.4%	116.4%	116.4%

### ② 事業活動収支計算書（当該大学等）

単位：千円

項 目		5年度決算	6年度決算 (見込み)	7年度決算 (見込み)	8年度決算 (見込み)	9年度決算 (見込み)	10年度決算 (見込み)
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	1,990,305	1,870,314	1,888,690	1,888,690	1,888,690	1,888,690
	手数料	18,418	22,075	22,280	22,280	22,280	22,280
	寄付金	14,499	15,755	15,910	15,910	15,910	15,910
	経常費等補助金	254,379	254,379	254,379	254,379	254,379	254,379
	付随事業収入	50,681	76,899	77,660	77,660	77,660	77,660
	その他	162,007	55,793	45,175	46,505	618	42,080
	<b>教育活動収入計</b>	<b>2,490,289</b>	<b>2,295,215</b>	<b>2,304,094</b>	<b>2,305,424</b>	<b>2,259,537</b>	<b>2,300,999</b>
教育活動支出の部	人件費	1,051,518	983,542	993,380	984,766	942,507	989,310
	教育研究経費	821,281	975,313	985,075	982,882	979,607	979,900
	うち減価償却額	117,870	123,586	124,822	126,070	127,079	128,223
	管理経費	216,714	249,140	251,639	249,192	246,277	243,416
	うち減価償却額	13,541	15,096	15,247	15,399	15,522	15,662
	その他	465	0	0	0	0	0
	<b>教育活動支出計</b>	<b>2,089,978</b>	<b>2,207,995</b>	<b>2,230,094</b>	<b>2,216,840</b>	<b>2,168,391</b>	<b>2,212,626</b>
<b>教育活動収支差額</b>		<b>400,311</b>	<b>87,220</b>	<b>74,000</b>	<b>88,584</b>	<b>91,146</b>	<b>88,373</b>
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	51	33	33	33	33
	その他の教育活動外収入	1,631	1,719	1,730	6,760	6,760	6,760
	<b>教育活動外収入計</b>	<b>1,682</b>	<b>1,752</b>	<b>1,763</b>	<b>6,793</b>	<b>6,793</b>	<b>6,793</b>
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
<b>教育活動外支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>教育活動外収支差額</b>		<b>1,682</b>	<b>1,752</b>	<b>1,763</b>	<b>6,793</b>	<b>6,793</b>	<b>6,793</b>
<b>経常収支差額</b>		<b>401,993</b>	<b>88,972</b>	<b>75,763</b>	<b>95,377</b>	<b>97,939</b>	<b>95,166</b>

備考（大規模修繕や周年事業等で収入・支出に大きな変動がある場合の説明）